



平成26年7月28日(月)  
九州大学医学部 百年講堂

# 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会 インターンシップ推進における現状と課題



堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会

南大阪地域大学コンソーシアム



統括コーディネーター 難波美都里



# 目次

1. 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会について
2. 堺・南大阪地域のインターンシップの現状  
-平成25年度インターンシップ事業報告-
3. 実施状況 -平成26年度インターンシップ-
4. 成果と課題



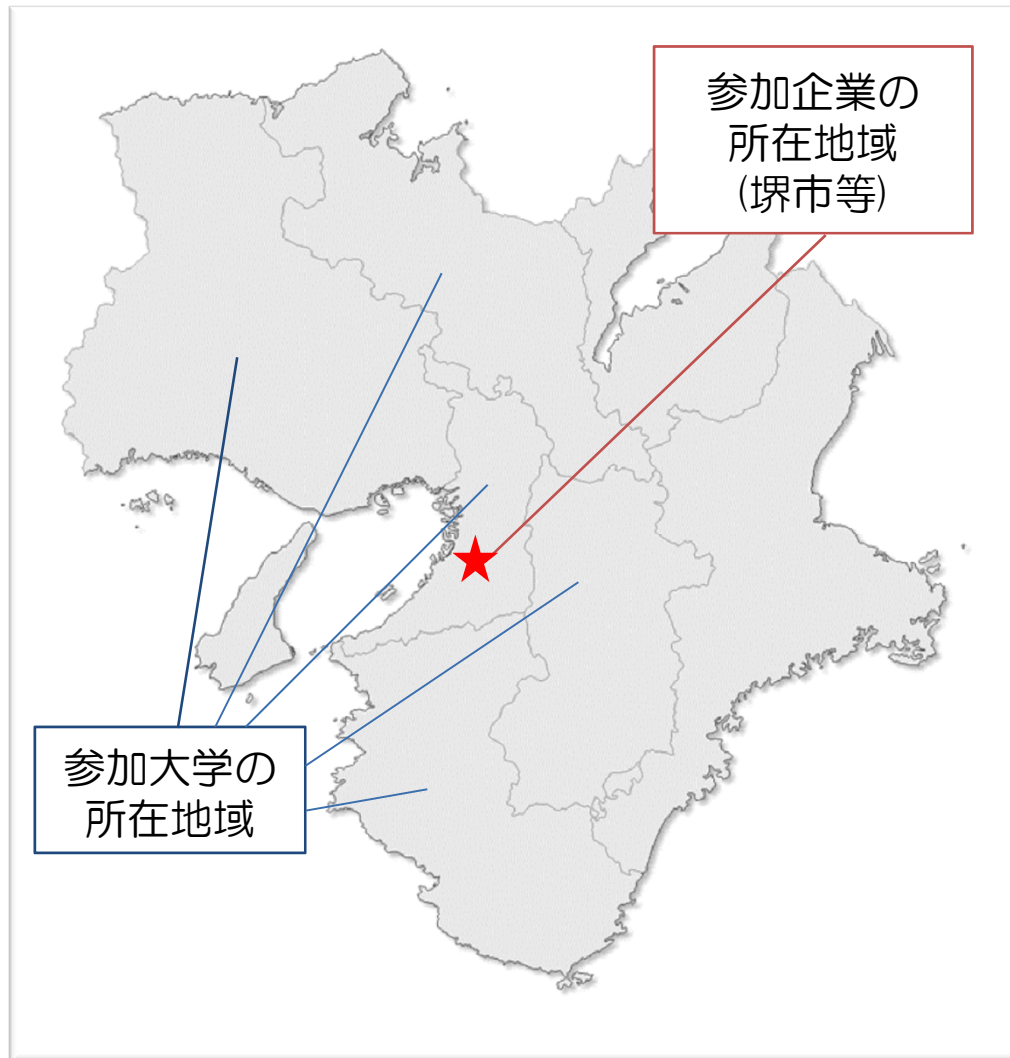


# 1. 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会 について





# 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会



## 構成団体

- ・堺経営者協会
- ・南大阪地域大学コンソーシアム
- ・堺市

## 参加大学(h25)

34大学15高専

## 参加企業(h25)

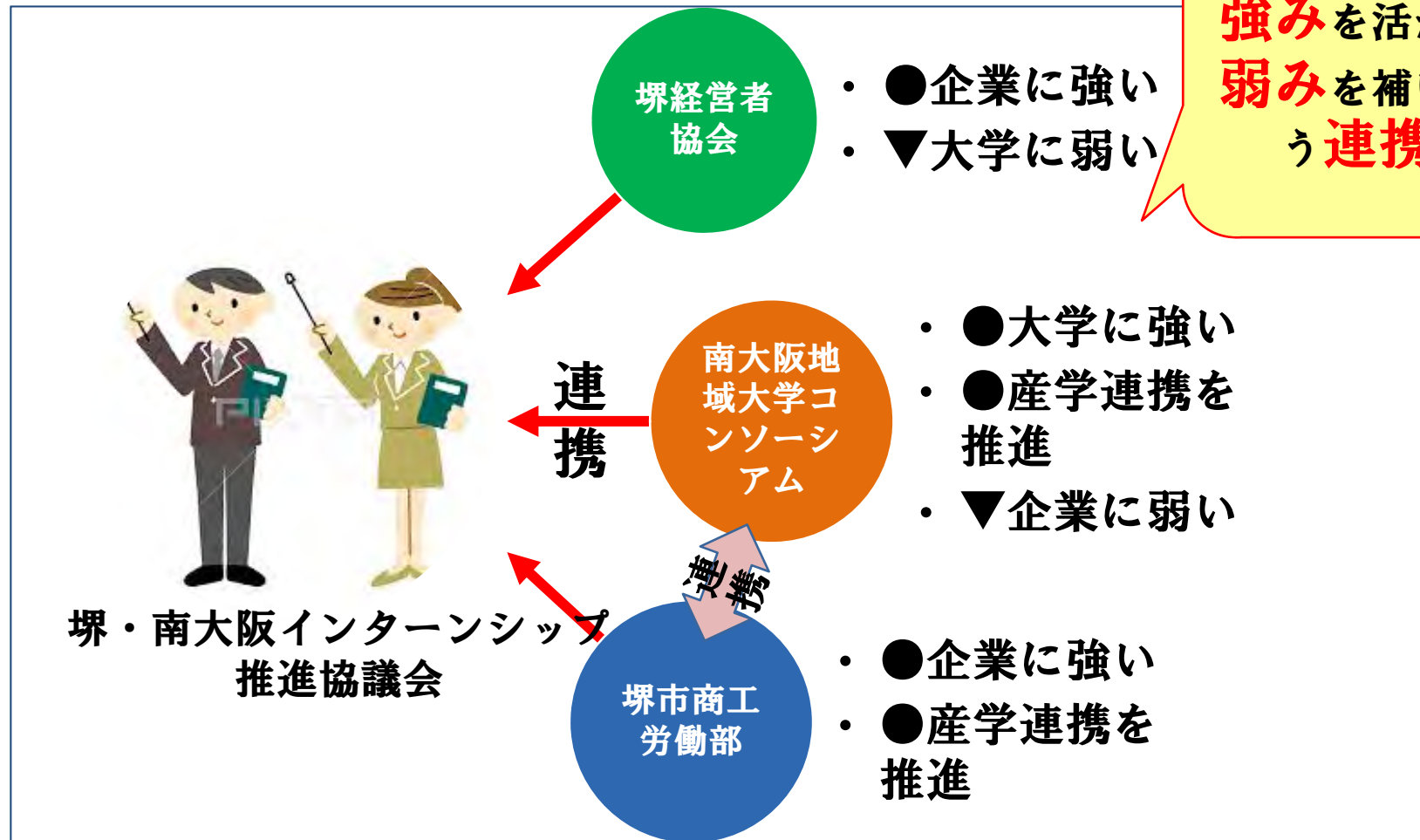
88社(64企業10行政11保育園3プロジェクト)

## 設立経緯

- ・平成11年度: 南コンソと近隣大学と堺市がインターンシップを開始(コンソの前身が実施)
- ・平成14年度:
  - 堺経営者協会がインターンシップを経産省の事業として開始
  - 南大阪地域大学コンソーシアムと堺市商工労働部が共同でインターンシップを開始
- ・平成23年度: 3者共同で堺市のインターンシップ事業を実施するため、本推進協議会を設立

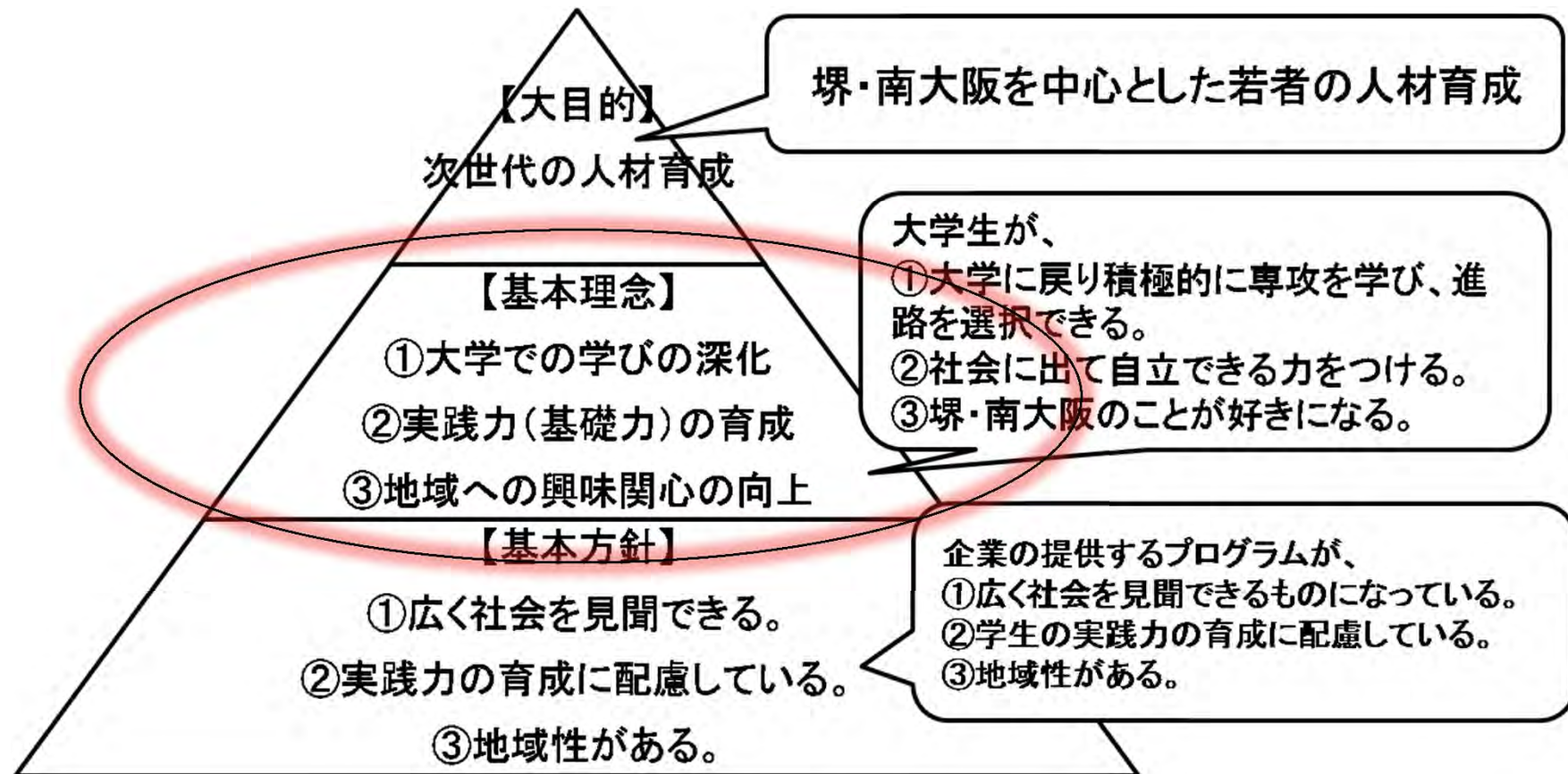


# 推進協議会を設立した背景





# 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会 インターンシッププログラムがめざすもの





## 2. 堺・南大阪地域のインターンシップの現状 -平成25年度インターンシップ事業報告-

インターンシップ報告書参照





# インターンシップ

H26申込者数  
一次募集329名 追加募集18名

年度	企業	学生
H23	65社	212名
H24	82社	210名
H25	88社	203名

## 実施団体

堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会

## 参加大学

34大学15高専

## 参加企業

88社(64企業10行政11保育園3プロジェクト)

## 実施期間

夏季休業中の2週間～1ヶ月

## 実習前研修

7月中旬に合同オリエンテーションを実施

## 参加条件

協議会登録大学(南コンソ会員、堺経営者協会登録)





# H25学生マッチング率 80.6%

## ----- マッチング例 -----

- 大阪千代田短期大学 11名応募 10名決定
- 近畿大学 8名応募 6名決定
- 甲南大学 8名応募 8名決定
- 四天王寺大学 16名応募 11名決定
- 帝塚山学院大学 18名応募 14名決定
- 阪南大学 8名応募 5名決定
- プール学院大学・短期大学部 27名応募 22名決定
- 桃山学院大学 29名応募 24名決定
- 和歌山大学 57名応募 43名決定



# インターンシップの様子



## インターンシップ合同オリエンテーション

平成23年7月9日(土)13:00-16:30

於:堺市民会館大集会会議室

参加学生の意欲を高め、責任感や意識向上、インターンシップの目的を明確にするため、180名もの学生が参加しました。  
ビジネスマナーや堺・南大阪地域の魅力についても学びました。





(株式会社サカイ引越センターにて)



(SMBC日興証券株式会社にて)



(株式会社ニッコーにて)





# 平成25年度 参加学生の属性

## 学部

学部	人数
人文科学	30
社会科学	76
理学	1
工学	2
農学	0
保険	0
商船	3
家政	3
教育	7
芸術	0
その他	46

## 学年

年次	人数
1年	19
2年	10
3年	133
4年	3

## 性別

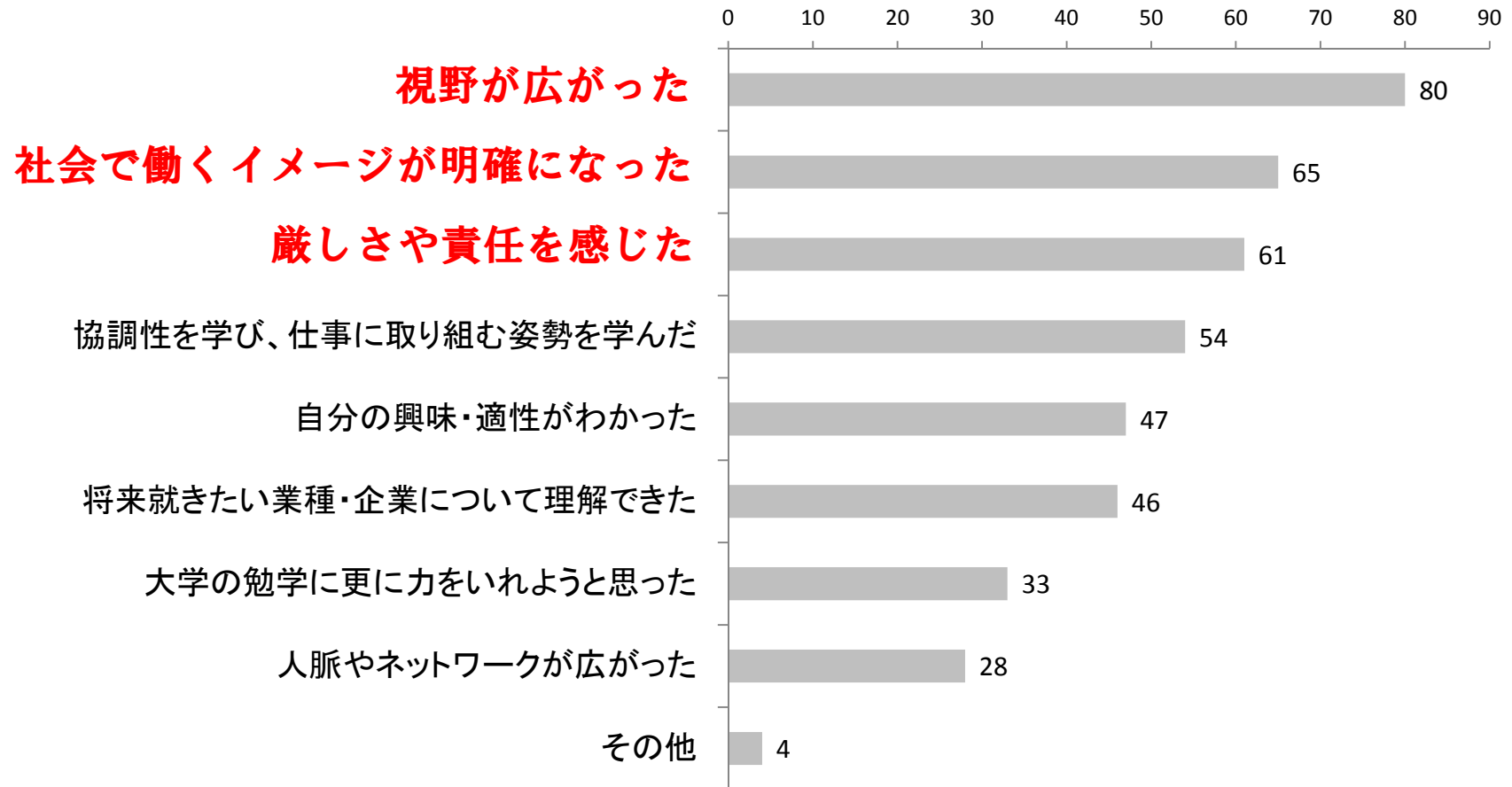
性別	人数
男性	53
女性	114
未記入	1

有効アンケート数 168



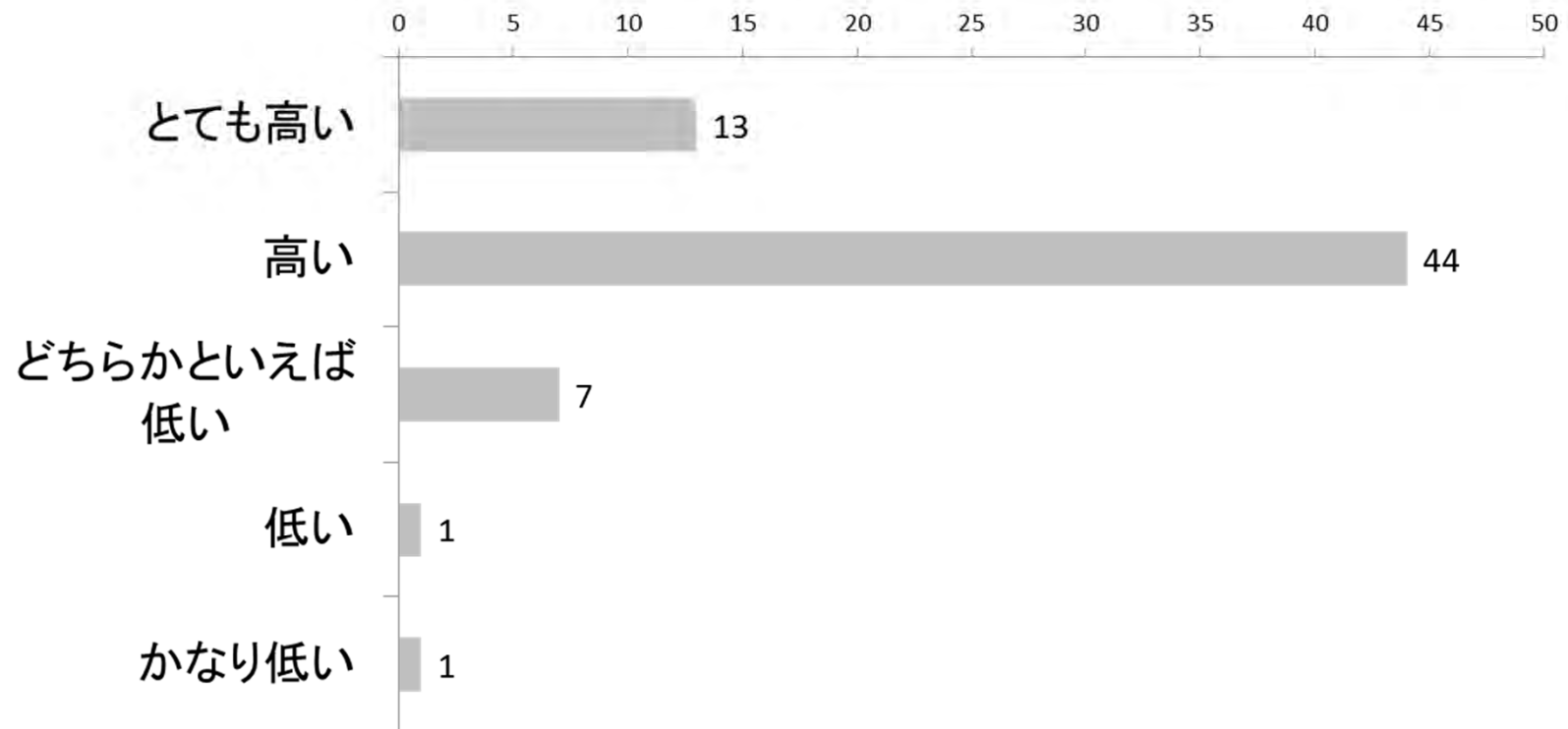


# インターンシップに参加して感じたこと(学生)



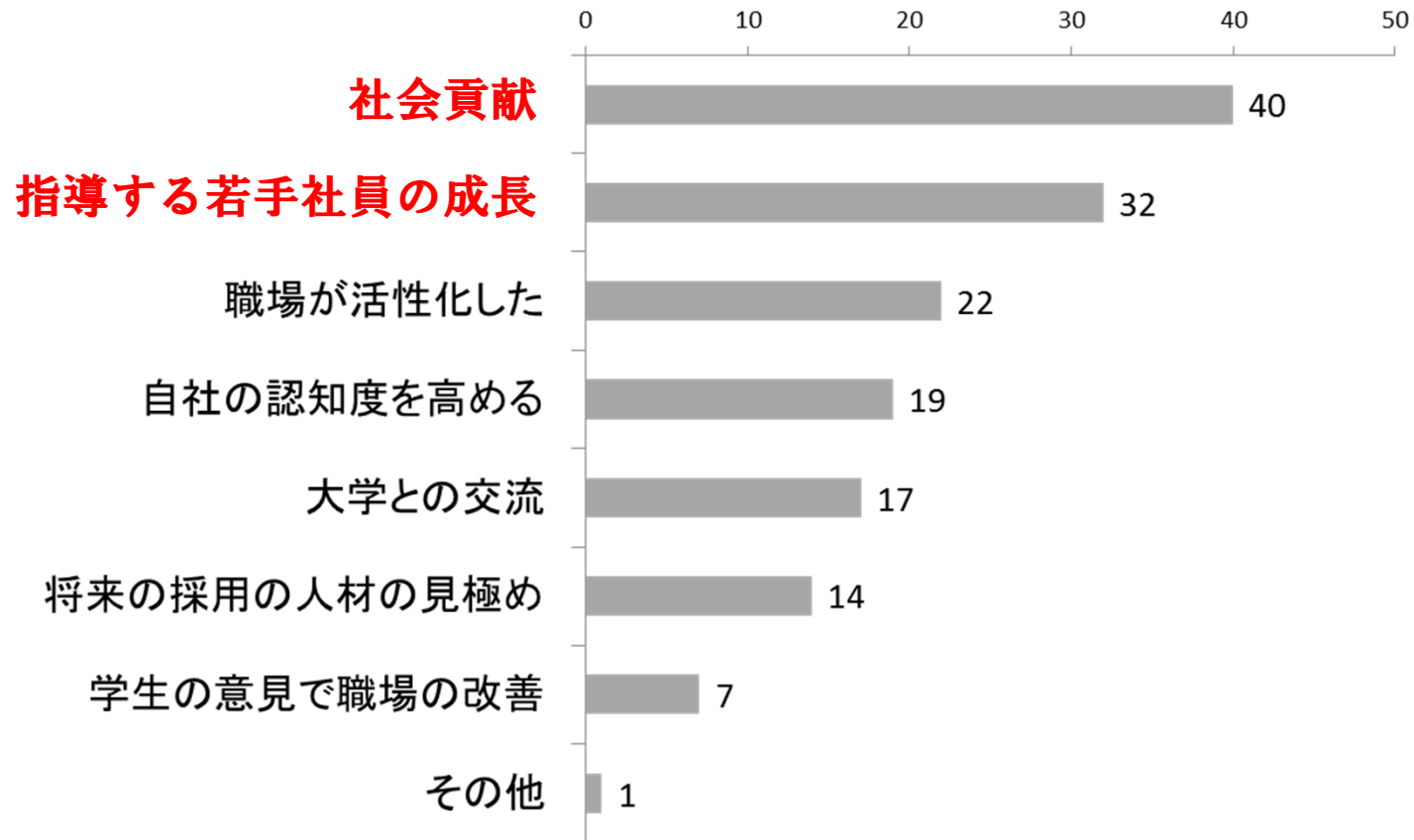


# 参加した学生のモチベーション について(企業)





# 受入によって得られた効果(企業)





### 3. 実施状況

-平成26年度インターンシップ-







# 平成26年度 インターンシップスケジュール

## 概略

- (1) インターンシップ参加学生募集(4月～5月)
- (2) マッチング通知(6月)
- (3) インターンシップ追加学生募集(6月)
- (4) 追加マッチング通知(6月)
- (5) 学生意思確認
- (6) 企業・大学間連絡の開始
- (7) 合同オリエンテーション(7月)
- (8) インターンシップ実施(8月～9月)
- (9) 事後学習会(10月)
- (10) インターンシップ事業報告会(11月)





# 事業イベント

平成26年6月現在

企業 97社(3PBL含む)

応募者337名 マッチング253名

年度	企業	学生
H23	65社	212名
H24	82社	210名
H25	88社	203名

## 平成25年度実績

時期	イベント	企業	大学職員	学生
6月29日 (土)	合同オリエンテーション	数名	12名	198名
10月6日 (日)	事後学習会	0名	10名	80名
10月30日 (水)	インターンシップ報告会 および産学交流会	21名	26名	1名 (発表)



# 出願要領

## 参加の資格

- 大学が参加を承認した学生
- 意識をもった学生であること

## 選考

名称	選考方法
事務局選考	推進協議会事務局にて選考
自社選考	希望企業の面接・エントリーシートにて選考



# 出願要領

## 実習にあたって

- ①報酬、昼食代、交通費は原則支給しません。
- ②実習期間中の事故については、企業は責任を負いません。基本的には学生個人の責任になる旨を、学生に徹底してください。
- ③事故等の予防対策として、学生は保険に加入してください。（保険については、現に各大学が加入している保険を勧めていただいで結構です。）
- ④実習期間は夏期休暇中になりますので、各大学は不測の事態に備えて、緊急連絡先を必ず学生に周知徹底させてください。

# 企業エントリーの注意点



南大阪地域大学コンソーシアム

マッチングできない場合のよくあるパターン  
＜人気企業のみ希望型＞

## ● 学生エントリーシートより(数字はh25実績)

### ＜第1希望＞

(株)日本旅行(自社選考)・・・募集枠**4** 第一希望**26** 決定**6**

### ＜第2希望＞

(株)紀陽銀行(自社選考)・・・募集枠**15** 第一希望**30** 決定**9**

### ＜第3希望＞

シティホテルサンプラザ(事務局選考)

・・・募集枠**2** 第一希望**9** 決定**2**

人気企業のみ希望された場合、マッチングは第1希望優先であることから、すでに第2、第3希望にはエントリーすらできないことがあります。幅を持ったエントリーをお願いいたします。



# プロジェクト型インターンシップ マッチングもれした学生のために(h25事例)

- **プロジェクト型インターンシップ(金融型)**
    - ①三菱住友銀行 ②大和証券(株) ③東京開場日動火災保険株式会社
  - **プロジェクト型インターンシップ(着地型観光)**
    - ①JTB西日本 ②南海電気鉄道 ③堺市観光部
  - **プロジェクト型インターンシップ(伝統産業)**
    - ①堺市ものづくり支援課 ②(株)山脇刃物製作所
- 
- 5日間 (am 9時～pm 5時) のPBL
  - 集中しがちな銀行(→金融型)、旅行会社(→着地型観光)、市役所(→伝統産業)の学生たちの受け皿として開設
  - 課題をもらって課題解決案を企業へ提案することにより、希望企業のインターンシップとして経験できる



# マッチング決定後の流れ

## 推進協議会の役割

- 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会の役割は、主に企業と学生のマッチングです。
- マッチング後の**大学-企業間の覚書・評価表等個別書類の手続き**は、推進協議会による**マッチング後、企業と大学で個別に行ってください**。※様式は大学ごとにあると思いますので、基本的には**大学主導で行ってください**。



# 実習日誌・実習評価報告書

## 推進協議会統一様式について

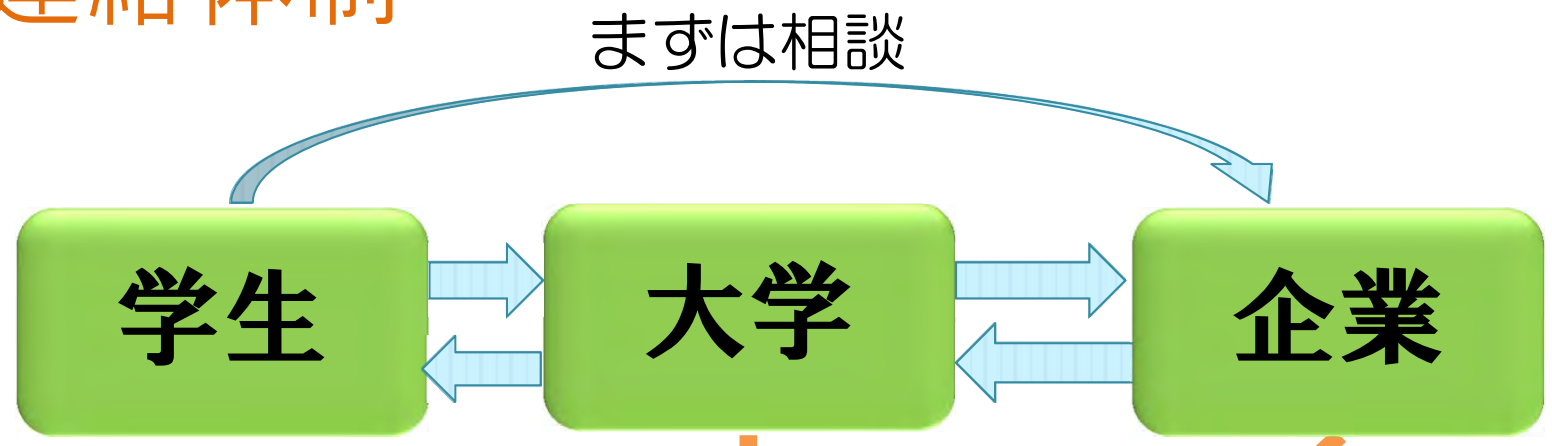
- 企業からのご要望「出来る限り様式を統一してほしい」に基づき、推進協議会より、実習日誌・実習評価報告書の統一様式をご提示しております。
- 大学の皆様は、**可能であれば推進協議会統一様式をご使用ください。**
- ご無理であれば、企業とご相談のうえ個別様式でご対応をお願いいたします。



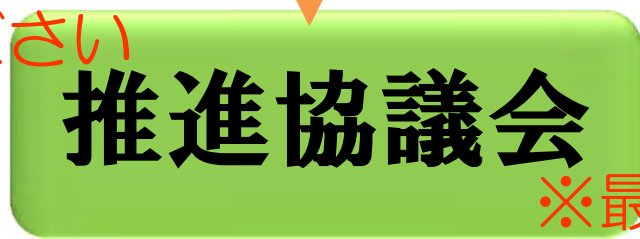


# 実習中に困った場合の対応について

## 企業-大学-学生-推進協議会の連絡体制



※最後に南コンソへ  
ご報告ください



※最後に経営者協会へ  
ご報告ください



## 4. 成果と課題





堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会

## H25 成果と課題

### 【成果】

- 学生数・企業数は年々増加している
- 学生の人材育成、企業の若手人材育成につながっている

### 【課題】

- 企業と学生のニーズのマッチングが難しい  
学生：銀行・旅行志向、製造業を敬遠しがち
- 平成26年4月に3年生の学生は、3年生の4月から就職活動が始まるので、それにあわせて企業の採用が変化する可能性がある
- 研修中の企業負担が大きい



# 南大阪地域大学コンソーシアム インターンシップ部会の議論

## (1) インターンシップの低学年化

各大学は、インターンシップをなるべく  
1～2年生から始めて社会人基礎力を  
ゆるやかに醸成してほしいと考えている

## (2) 企業の負担の軽減を目標に

各大学の緩やかな評価表・勤怠表の統一

## (3) インターンシップの多様化

5日1単位、10日2単位の普及  
企業による1 dayインターンシップ





## 推進協議会の本年度の議論

- **学生の第一希望をどこまで優先するか**

→第一希望優先にするとマッチング率が低くなる。

- **毎年応募者がない企業について**

→せっかく枠をとってかれている企業に申し訳ない。

- **学生の希望が一極集中することへの対応案**

企業の魅力を知ってもらえば、希望は集中しないのではない  
か。大学には、企業の魅力を学生に伝えてもらい、学生さんには  
いろいろな企業にエントリーしてもらいたい。

企業側窓口(経営者協会)は受入枠を多くするよう枠の確保と開  
拓、人気企業には枠よりも多い受入のお願いを頑張るが、それ  
でも実務上上限がある。

# インターンシップ以外の取組

## 目的

地元企業に興味・関心をもち、就職してほしい！

- **社長に話を聴こう！**  
**(各大学にて出前講座)**
- **地元企業見学バスツアー**  
**(学生向け、教職員向け)**



ご清聴ありがとうございました。

